

【施設状況】

グループ名称	芋井公民館								
指定管理者名	芋井地区住民自治協議会					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3373	芋井公民館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	大集会室(ホール) 1、会議室 1、料理実習室 1、図書室兼学習室 1								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講座の実施</li> <li>・講演会</li> <li>・展示会の開催</li> <li>・図書等を備えその利用を図る</li> <li>・貸館事業</li> </ul>								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	芋井地区住民自治協議会			指定回数	2 回	
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日	5年	管理運営開始日	平成27年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	利用者数	人	5,203	4,073	4,462	3,679	82%	
	利用率	%	6.3	5.2	5.6	5.8	104%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芋井公民館の利用許可に関する業務</li> <li>・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務</li> <li>・芋井公民館の設備及び維持管理に関する業務</li> <li>・教育委員会が定める業務</li> <li>・芋井公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務</li> <li>・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務</li> </ul>						
	自主事業							
サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館報 3回/年 発行。ホームページの更新、SNSでの情報発信を行い、公民館活動の広報に努めた。</li> <li>・講座の開催等は、地区の回覧にチラシ入れる、住自協のホームページに講座の予定を掲載するなど新規利用者の増加につなげた。また生涯学習だより「まなびい」のページに講座の予定を掲載し、広報に努めた。</li> </ul>							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用へは、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。</p> <p>(3) 調査、会議等の結果 【実施した各学級講座のうち3講座を抜粋】 「苔玉づくり講座」 募集16人 受講者18人中18人から回答 満足:88.9% 無回答11.1% 「おそうじ講座」 募集16人 受講者12人中12人から回答 満足:100% 「初冬の漬物講座」 募集16人 受講者17人中17人から回答 満足:88.2% やや満足:11.8%</p>	
利用者からの評価・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 「苔玉づくり講座」 地区の小学生と一緒に苔玉をつくるため小学生と交流できる学びの場であり参加者から好評であった。 「おそうじ講座」 利用者からの要望で開催した講座であり、講師の説明が分かりやすく実益をかねた講座のため好評であった。 「初冬の漬物講座」 地元食材を使い、地域の食を学ぶ講座であり、地元の食を継承するための学ぶ場が少ないため好評であった。</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 1 暖房器具のスイッチが切れないことがある。 2 調理室の布巾が汚れているものがある。 3 和室でも椅子を使用したい。</p> <p>《対応措置》 1 機器の点検を実施し、改善を図った。 2 点検し、交換を実施した。また、点検をこまめに行うようにしている。 3 令和2年6月より実施予定。</p>		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	9,900,000   243,000	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	9,900,000   243,810	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 貸付料 その他	2,460  1,477  	
計	10,143,000	計	10,143,810	計	3,937	計	0		
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	6,711,128 220,000  200,000 678,000 470,000 1,782,872  81,000	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	6,736,025 179,949 148,500 77,760 708,884 349,205 1,935,410  	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	9,900,000 233,750     319,000  	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	9,725,000  21,060    33,480  
計	10,143,000	計	10,135,733	計	10,452,750	計	9,779,540		
自主事業	収入 支出 自主事業損益	  0	収入 支出 自主事業損益	  0					
損益	0	8,077	差引	-10,448,813	-9,779,540				
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								66.5%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員1人(1人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	<p>1 地公連の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。</p> <p>2 職員は、地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。</p> <p>3 住民自治協議会の各部会と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。</p> <p>4 小・中学校・保育園・児童センターと連携し、保護者・祖父母も含めた事業を行い、PTAとの連携を図る。</p> <p>5 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。</p> <p>6 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。</p>	H30年度は、若槻公民館が募集した参加者と芋井公民館が募集した参加者が芋井地区の名所等をウォーキングしながらめぐり、交流を図ったが、今年度は、若槻地区を訪れ、地域探訪しながら交流を深めた。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
<b>合計得点</b>			

評価理由	<p>地元の小学校と連携を図り、住民が講師となり児童と一緒に学ぶ機会を提供したり、若槻公民館との交流(昨年は芋井で、今年度は若槻地区を訪問)を行い、継続した地域間交流を実施するなど地域の資源や人材を活用した点を評価し「地域連携」を「4」とした。開講した講座は、利用者から要望を取り入れるなど工夫を凝らし、講座受講者は芋井地区以外からの参加も多く、事業後のアンケート結果も好評であったため「利用者評価」を「4」とした。</p>
------	--

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	<p>新しい生活用様式を取り入れ、質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。</p>
--------------------	---

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

アンケートや利用者からの意見を反映した講座作りや事業を行った。  
H30年度に会議机を入れ替えた。机自体が軽量になり移動が楽になったため、非常に使いやすいと利用者に好評である。

② 業務の効率化に対する取組み

地域公民館の役員の負担軽減と効率化を図るため、成人祝賀式を1日から半日(午後)に変更、また文化芸能祭を観覧する参加者や役員の負担を減らすため、開催時間を短縮した。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

少子高齢化が進む中で、講座の企画をしても、公民館にくる手段がないため、講座に参加できない方がいる。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

令和元年東日本台風災害及び新型コロナウイルス感染症の流行により、計画通り実施することができなかった事業があった。  
利用者要望に応えられるよう努めたことが、利用者からの評価を得た。

② 次年度以降の取組み

- ・今まで以上に様々な形で情報発信及び情報収集に努め、より良い公民館作りと利用促進を図りたい。
- ・市公連を通じて他公民館との情報共有の場を設け共通の課題解決を図りたい。
- ・これまで以上に他団体との共催を図りたい。